

「落花生」生育情報（第2報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

令和3年8月20日

千葉県農林水産部

生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育情報を提供するものです。
調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を予測するものではありません。

1 生育状況

7月中下旬は、平均気温、日照時間ともに平年を上回りましたが、8月上旬以降は、平均気温は平年よりもやや上回ったものの、局地的なゲリラ豪雨があり、降水量が平年よりも非常に多くなりました。

8月10日時点の作況調査ほ及び落花生研究室のほ場では、梅雨明け前まで徒長傾向の生育でしたが、梅雨明け後は天候回復により、さや数はほぼ平年並みからやや多くなっています。また、さやの乾物重は平年並からやや重くなっています。

表1 作況調査成績（8月10日調査）※対比は平年比

品種名	年次	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
千葉半立 〔調査区の平均 は種日5月29日〕	本年	7/10	1,747	357	74	230	44	38.0
	平年	7/9	2,226	358	89	281	43	38.8
	対比	+1	78%	100%	83%	82%	102%	98%
ナカテユタカ 〔調査区の平均 は種日5月23日〕	本年	6/29	1,768	408	181	616	132	36.8
	平年	7/4	1,790	340	149	523	95	34.4
	対比	-5	99%	120%	121%	118%	139%	107%
千葉P114号 (Qなっつ) 〔調査区の平均 は種日6月1日〕	本年	7/6	2,161	380	167	444	60	42.6
	平年	7/7	1,934	277	129	455	65	43.4
	対比	-1	112%	137%	130%	98%	92%	98%

* 本年値は、各調査地点の平均値。「千葉半立」は千葉・印旛・香取・山武地区、「ナカテユタカ」は千葉・海匝・長生地区、「千葉P114号」は印旛・香取・長生地区。

* 平年値は、平成26年から令和2年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く平均。ただし、「千葉P114号」のみ平成28年から令和2年（5年間）の平均。

* 対比はラウンド処理をしているため、小数点以下が合わない場合がある。

* 開花期は、40～50%の株に1輪でも花が咲き始めた日。

表2 (参考) 落花生研究室(八街市)の作況(本年の値、8月10日調査)

は種日	品種名	開花期	地上部 生体重 (g/m ²)	地上部 乾物重 (g/m ²)	さや数 (個/m ²)	生さや重 (g/m ²)	さや 乾物重 (g/m ²)	最長 分枝長 (cm)
5月20日 (標播)	千葉半立	6/30	2,823 (119%)	551 (118%)	165 (123%)	503 (125%)	54 (85%)	45 (118%)
	ナカテユタ カ	6/28	2,109 (123%)	351 (98%)	222 (111%)	753 (123%)	108 (97%)	41 (120%)
	おおまさり ネオ	6/27	2,124 (93%)	428 (97%)	156 (96%)	603 (101%)	79 (94%)	38 (98%)
	千葉P114号 (Qなっつ)	6/29	2,000 (115%)	369 (108%)	222 (117%)	663 (111%)	88 (82%)	48 (121%)
6月8日 (晩播)	千葉半立	7/12	2,005 (104%)	336 (101%)	50 (117%)	163 (144%)	16 (138%)	38 (120%)
	ナカテユタ カ	7/10	1,547 (90%)	328 (110%)	110 (122%)	399 (142%)	43 (138%)	32 (96%)
	おおまさり ネオ	7/11	2,065 (98%)	356 (101%)	69 (148%)	181 (133%)	22 (142%)	36 (99%)
	千葉P114号 (Qなっつ)	7/12	1,415 (94%)	269 (98%)	75 (78%)	235 (80%)	26 (75%)	34 (87%)

*落花生研究室の栽植密度は、各品種とも5,128株/10a。

カッコ内は、平成28～令和2年の平均値対比を示す。

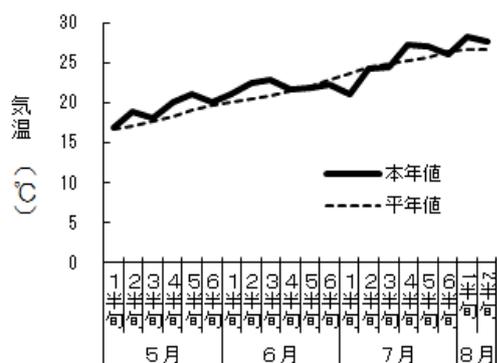


図1 気温の推移(アメダス、佐倉)

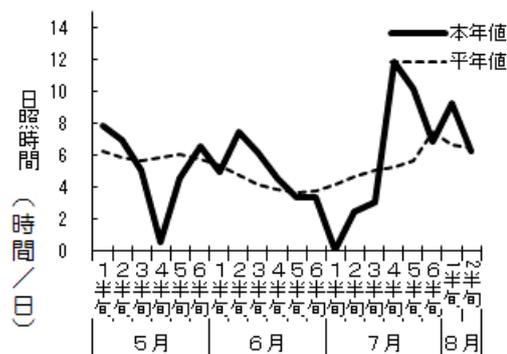


図2 日照時間の推移(アメダス、佐倉)

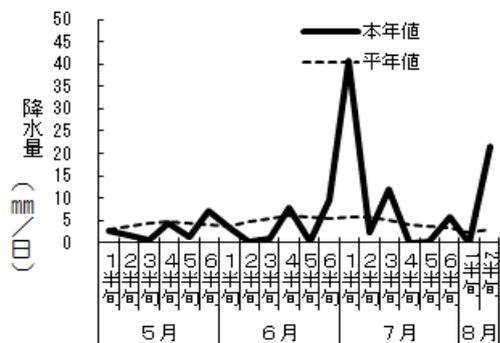


図3 降水量の推移(アメダス、佐倉)

2 これからの管理のポイント

(1) 病虫害防除について

7月上旬から中旬までの日照不足や8月上旬以降の多雨の影響もあり、褐斑病や白絹病の発生が多くなっています。ほ場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めましょう。

薬剤の使用に当たっては、収穫前使用日数に注意しましょう。薬剤散布は、農薬のラベルに記載された使用基準に従って行ってください。

なお、白絹病については昨年から使用可能な薬剤が増えましたが、病勢が強い場合には薬剤散布だけでは十分な効果が望めないこともあります。最も効果的に感染拡大を防ぐ方法は罹病株を株元の土ごと除去することですので、発病が見られたほ場では可能な限り罹病株の撤去を行いましょう。

表3 防除薬剤

病害名	適用薬剤名	希釈倍数等	使用時期／回数
褐斑病	トップジンM水和剤	1,500～2,000倍	収穫7日前まで／4回
	ベンレート水和剤	2,000～3,000倍	収穫7日前まで／4回
白絹病	アフエットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで／3回



褐斑病



白絹病

(2) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないようにしましょう。砂地の地域では収穫時期が早まるので、早めに試し掘りをしてください。

掘り遅れた場合、「ナカテユタカ」は食味が低下し、「千葉 P114 号 (Qなつつ)」は落ち実が発生しやすくなるので、特に注意が必要です。

表4 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさりネオ	千葉 P114 号
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	85日後 (ゆで莢用)	80日後

表5 落花生研究室 (八街市・マルチ栽培) での収穫期目安

	は種日	開花期	収穫期目安
千葉半立	5月20日	6月30日	10月3日
	6月8日	7月12日	10月14日
ナカテユタカ	5月20日	6月28日	9月16日
	6月8日	7月10日	9月27日
千葉 P114 号 (Qなつつ)	5月20日	6月29日	9月17日
	6月8日	7月12日	9月30日

収穫適期判断法

「ナカテユタカ」及び「千葉 P114 号」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

＜方 法＞

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++)のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。



(3) 台風対策

栽培期間中に台風が接近した場合は、以下の対策をしましょう。

ア 栽培中及び乾燥中ともに冠水しないように排水路を整備する。

イ 台風後に黒渋病及び褐斑病が発生しやすいので、よく観察し、必要に応じて表3を参考に殺菌剤を散布する。